

	筑波大学 学際分野
学部等の教育研究 組織の名称	人間学群（第1年次：120名） 情報学群（第1年次：230名、第3年次：30名） 人文社会科学研究科（M：86名 D：75名） 人間総合科学研究科（M：423名 D：184名） 図書館情報メディア研究科（M：37名 D：21名） 教育研究科（M：100名）
沿 革	<p>明治35（1902）年 東京高等師範学校 設置</p> <p>昭和4（1929）年 東京文理科大学 設置</p> <p>昭和12（1937）年 東京農業教育専門学校 設置</p> <p>昭和19（1944）年 東京体育専門学校 設置</p> <p>昭和24（1949）年 東京教育大学文学部 設置</p> <p>昭和39（1964）年 図書館短期大学 設置</p> <p>昭和48（1973）年 筑波大学 設置</p> <p>昭和50（1975）年 第二学群（人間学類）、地域研究研究科、哲学・思想研究科、歴史・人類学研究科、文芸・言語研究科、社会科学研究科 設置</p> <p>昭和51（1976）年 体育研究科、教育学研究科、心理学研究科、心身障害学研究科、体育科学研究科、芸術学研究科 設置</p> <p>昭和52（1977）年 第三学群（情報学類）、教育研究科 設置</p> <p>昭和54（1979）年 図書館情報大学図書館情報学原論講座、図書館情報システム論講座、情報資料媒体論講座、情報組織化論講座、情報社会関係論講座 設置</p> <p>昭和59（1984）年 図書館情報大学大学院図書館情報学研究科 設置</p> <p>平成4（1992）年 国際政治経済学研究科 設置</p> <p>平成13（2001）年 哲学・思想研究科、歴史・人類学研究科、文芸・言語研究科、社会科学研究科及び国際政治経済学研究科を廃止し、人文社会科学研究科を設置</p> <p>同 年 教育学研究科、心理学研究科、心身障害学研究科、体育科学研究科、芸術学研究科を廃止し、人間総合科学研究科を設置</p> <p>平成14（2002）年 図書館情報大学と統合し、図書館情報専門学群および図書館情報メディア研究科（区分制）を設置</p> <p>平成19（2007）年 第二学群（人間学類）を改組し、人間学群を設置</p>

	<p>同 年 第三学群（情報学類）及び図書館情報専門学群を改組し、情報学群を設置</p> <p>平成 20（2008）年 地域研究研究科を廃止し、人文社会科学研究科を設置</p>
<p>設置目的等</p>	<p>昭和 50（1975）年に、比較文化、人間、生物及び農林の各分野に関する教育を総合的に行うことを目的として、第二学群が設置された。また、同年に、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うことを目的として、地域研究研究科修士課程が設置され、専攻分野について研究者として研究活動を行うために必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的として、哲学・思想研究科（博士課程）、歴史・人類学研究科（博士課程）、文芸・言語研究科（博士課程）、社会科学研究科（博士課程）が設置された。</p> <p>昭和 51（1976）年に、教育学研究科（博士課程）、心理学研究科（博士課程）、心身障害学研究科（博士課程）、体育科学研究科（博士課程）、芸術学研究科（博士課程）が設置された。</p> <p>昭和 52（1977）年に、社会工学、情報及び基礎工学の各分野に関する教育を総合的に行うことを目的として、第三学群が設置された。また、同年に、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うことを目的として、教育研究科（修士課程）が設置された。</p> <p>昭和 54（1979）年に、図書館情報学に係る高度の理論と技術について教育研究を行い、もって学術文化の進展に寄与することを目的として、図書館情報大学図書館情報学原論講座、図書館情報システム論講座、情報資料媒体論講座、情報組織化論講座、情報社会関係論講座が設置され、昭和 59（1984）年に、図書館情報大学第一期学部入学生の卒業に合わせ、図書館情報大学院図書館情報学研究科が設置された。</p> <p>平成 4（1992）年に、国際政治と国際経済との相互関連を充分理解できる国際関係及び国際開発分野の研究者・教育者と、それぞれの分野において専門的知識をいかし、政府機関、民間組織、国際機関などで積極的に実務に携われる人材を養成することを目的として、国際政治経済学研究科博士課程が設置された。</p> <p>平成 13（2001）年に、哲学・思想研究科、歴史・人類学研究科、文芸・言語研究科、社会科学研究科及び国際政治経済学研究科を廃止し、人文科学・社会科学を統合して、両分野を広域的に高度融合させた新専攻を創出するとともに、基礎研究を充実・深化させることによって、より高度な教育・研究を実践し、新しい社会的・学問的要請に応え得る広い視野・優れた独創性・高度な研究能力を持った研究者、高い専門性・優れた国際的実務能力を有する高度専門職業人の育成を図ることを目的として、人文社会科学研究科が設置された。また、同年に、心身に関する基礎から応用まで</p>

の豊富かつ高度な教育研究を通して、それぞれの固有の学問領域においてさらに高度な研究を計画実行できる研究者、及び「人間」に関する幅広い知識をもち優れた学際研究を計画実行できる研究者、さらに複合的な視点から人間を捉え柔軟かつ適切な援助を設計し実行できる高度専門職業人を養成することを目的として、人間総合科学研究科（博士課程）が設置された。

平成 14（2002）年に、図書館情報大学と統合され、図書館情報専門学群および図書館情報メディア研究科（区分制）が設置された。

平成 19（2007）年に、第二学群（人間学類）を改組し、人間、社会、自然に関する幅広い興味と関心を基盤としつつ、人間の発達や支援に関して科学的に分析・理解する態度と専門的な知識や技能を身に付け、これらの態度・知識・技能を活用し実際的な問題を主体的・創造的に解決する能力を育成することを目的として、人間学群を設置し、また、第三学群（情報学類）および図書館情報専門学群を改組し、知識と情報の記録、蓄積、共有、加工、利用といった諸活動に関わる様々な情報技術とともに、それによって支えられる人間の知的活動とその社会的・文化的基盤を十分に学び、社会や企業、大学や研究機関などにおいて将来をリードすることのできる人材の育成を目的として、情報学群を設置した。

強みや特色、
社会的な役割

【総論】

筑波大学における学際分野においては、真理の探究を図るとともに、専門知識と研究技能を統合した学際分野の普遍的役割を果たすべく、教育研究を実施してきた。

引き続き、上記の役割を果たしながら、教育並びに研究において明らかにされる強み・特色・役割等を踏まえ、学内における中長期的な教育研究組織の在り方を速やかに検討の上、実行する。

【教育】

(学部)

- 人間分野では、教育学、心理学、障害科学、等の学問分野の教育研究を通じて、人間と人間がかかわる社会・自然に関する幅広い興味と関心を基盤にしつつ、人間の発達や支援に関して科学的に分析・理解する態度と専門的な知識や技能に基づき、人間社会に広く貢献することができる人材を養成する。

情報分野では、情報学や図書館情報学等の教育研究を通じて知識や情報を活用する能力、人間、社会、技術にわたる総合的視野や問題解決能力を有する人材を養成する。

- このため、平成 19 年度より学部教育組織の全学的な改編を行い、卒業時に必要とされる資質や能力を可視化しつつ体系的な教育課程を編成するとともに、学生の能動的学習を促す教育の実施や組織的な教育体制

等を構築している。

- 今後は、人間分野では、学群コア・カリキュラムをさらに充実させ、教育学、心理学、障害科学分野における専門家等の養成につながるよう工夫するとともに、専門科目を厳選して教育の質の充実を図る。また、国際性豊かな人材を育成するため、語学力の強化や留学体験の奨励・支援を行う。

情報分野では、国際性豊かな人材を育成するため、語学力の強化及び国際インターンシップや留学の奨励・支援を行うとともに、情報社会をリードする人材養成をめざして、これまで行ってきた文理融合型教育の取組を検証・改善し、学生の視点に立ったより学際的な教育を提供していくことにより、学士課程教育の質的転換に取り組む。

(大学院)

- 人文社会科学分野では、国際的、学際的な視点から課題を把握し分析する能力と、持続的な社会のあり方や問題解決の方策、新たな制度構築を提示できる応用的、実践的能力をもつ研究者・高度専門職業人を養成する。

人間総合科学分野（人間系）では、人間のこころの解明から成長・発達を支援する教育制度や社会システムまでの幅広い国際的視野と総合的・専門的な知識と技能を持つとともに、現場の問題解決に寄与できる意欲や能力を有し、人間支援にかかわる高度専門職業人と、人間の発達・行動に関する研究に従事する自立した研究者を養成する。

図書館情報メディア分野では、情報技術とサービスへの理解力、高い志と倫理観を持ち、さまざまな場面におけるリーダーシップ力、自律的に課題を発見し展開できる論理的な思考力、独創的な研究を生み出す柔軟な発想力と深い洞察力、分析手法への幅広い理解力、グローバルな視点から知識情報社会のフロンティアを切り開く力、図書館情報メディア分野における人材育成のための教育力を有し、情報産業や情報提供サービス分野においてリーダーシップを発揮できる情報メディア分野における高度専門職業人と、知識情報社会のフロンティアを切り拓くことのできる研究者を養成する。

教育分野では、学校教育と教科教育を融合した学際的で高度な教職専門能力と、学校現場で生じる複雑な諸問題の解決に積極的に取り組むスクールリーダーシップを備えた高度専門職業人を養成する。

- このため、人文社会科学分野では、新領域の開拓を促す異分野融合型教育プログラムを基礎に、国際交渉力強化プログラムを実施し、国際的な発信力や問題解決に向けて合意形成する実践的能力の強化を図るなど教育課程の国際化と学際化を推進している。

人間総合科学分野（人間系）では、現職社会人の学び直し・キャリアアップに最適化したカリキュラムや、伝統ある多様な附属学校 11 校で

蓄積されてきた「実践の知」と大学における「研究の知」の往還に基づくカリキュラムによる教育を実施している。

図書館情報メディア分野では、平成 22 年度に教育課程を全面的に改訂し、学位の種類ごとに必修科目群と選択科目群を分けた学位プログラムの考え方を導入し、社会人対象のキャリアアッププログラム、留学生のための英語プログラムを新設している。また、短期交換プログラムの促進や国際会議での発表を奨励するなど、実践を通じて国際的通用性のある人材を育成している。

教育分野では、大学院段階の教師教育プログラムを実施し、学校組織と教育内容・方法に関する高度な専門性と実践的な指導力の強化を図っている。

- 今後は、学生の国際感覚を深め、国際的な研究発信力をさらに高めるために英語教育の充実等を図るとともに、社会人、留学生を含め、時代の動向や社会構造の変化に応え、課程制大学院制度の趣旨に沿った教育課程と指導体制を充実・強化する。

【研究】

- 人文社会科学分野では、人文科学・社会科学分野の異分野協働型研究、国際発信型研究の特に優れた研究実績をいかし、外に向かって開かれた研究ネットワークを形成する。

人間総合科学分野（人間系）では、師範学校以来の国内外のネットワークや多様な附属学校 11 校との連携をいかし、教育学・心理学・障害科学等を含む学際分野における高度なレベルの研究を推進する。

図書館情報メディア分野では、図書館情報学分野における特に優れた研究実績をいかし、図書館学から情報学まで含む幅広い領域をカバーした総合的な研究を組織的に推進する。

教育分野では、学際的な専攻の特色をいかし、実践的な教育研究に組織的に取り組み、学校教育学と教科教育学に関する独自の学会研究活動を展開する。

- 人間総合科学分野（人間系）では、教育開発国際協力研究センターや特別支援教育研究センターを通じてアジア・太平洋諸国の研究機関との交流・連携活動、途上国・中進国への教育支援活動を展開している。

図書館情報メディア分野では、図書館情報学・情報学に関する国際シンポジウムや国際サマースクールなどを積極的に開催し、アジアにおける拠点として活動している。

- 今後は、新たな学際的研究体制の構築、アジア・太平洋諸国をはじめとする諸外国との研究連携の拡充及び研究ネットワークの拡大等により総合的な研究を組織的に推進するとともに、我が国の社会の課題解決・文化の発展をけん引する。また、重要な学問分野の継承・発展に寄与するとともに、我が国の社会・文化に関する研究成果を国際的に広く発信

する。

【その他】

- 人間総合科学分野（人間系）では、東南アジア教育大臣機構や APEC（アジア太平洋経済協力）と多国間地域教育組織として連携関係をもっており、加盟国全体への広がりを持つ国際連携体制の構築を進めている。また、障害を有するスポーツ選手の競技能力向上に向けたサポート体制を医学医療系、体育系、理療科教員養成施設と連携して推進している。
- 図書館情報メディア分野では、現職者を対象とするリカレント教育プログラム「図書館情報学キャリアアッププログラム」や履修証明プログラム「図書館経営管理コース」を開設し、図書館情報学教育の拠点として高度な内容を教授する継続専門教育を実施している。
- 教育分野では、国費教員研修留学生の研修プログラムを開設するとともに、社会人を対象とする1年制プログラム等を実施している。
- 全学的な機能強化を図る観点から、18歳人口の動態や社会ニーズを踏まえつつ、学部・大学院の教育課程及び附属学校を含めた組織の在り方、規模の見直しに取り組む。